

# 人事労務関係手続きの電子申請プロセスを大幅に簡略化する外部連携API

## SAP人事システムとe-Gov電子申請システムとを自動連携して業務負荷を削減

2020年4月より、一定以上の規模の企業では人事労務関係の手続きの一部を電子申請で行うことが義務化された。これによって企業は総務省の提供する「e-Gov 電子申請システム」を利用して申請を行わなければならない。人事部門の労務コストや業務負荷が課題となる現在、既存のシステムや業務プロセスに大きな影響を与えることなく、簡単かつコストを抑えて電子申請に対応できるソリューションが求められる。

### 電子申請義務化で生じる SAP人事システムユーザーの課題

雇用保険や社会保険などの各種手続きを処理するための労務コストは、企業の人事部門にとって大きな負担となっている。そうしたなか、2020年4月より、人事労務関係手続きの一部について、一定以上の規模の企業を対象に電子申請が義務化された。各種手続きの電子申請を行うためには、総務省が提供する電子政府の総合窓口である「e-Gov 電子申請システム」を利用することになる。このシステムの利用にあたっては、「ブラウザ経由」と「外部連携API 対応ソフトウェア」という2つの選択肢がある。

前者のブラウザからの利用の場合、ブラウザ上での入力作業やファイル提出に伴うデータの整形作業が必要になるため、紙による申請と比べて劇的に工数削減を実現できるわけではない。また、ブラウザ経由の一括申請については

2018年末で新規ユーザーの受付が廃止されており、それ以降にe-Gov電子申請システムを採用する場合は外部連携API対応ソフトウェアを使用する必要がある。

一方で、外部連携API対応ソフトウェアについては、市場にさまざまな製品が存在するものの、大企業を中心に多く

の企業で採用されている「SAP人事システム」との連携で問題にぶつかることになる。というのも、新たにシステムを導入すれば、複数システムを使い分ける必要が生じてしまいプロセスが煩雑になるうえ、データ連携機能などを構築する必要があるためコストが割高になってしまう可能性もある。また法改正の対応コストも発生し得る。

それ以外の問題点としては、トランザクションデータを他のソリューションに展開することによりデータの一元管理ができないということや、データ改ざんによる不整合などのリスクを抱えてしまう可能性もある。

もともと多くの企業では人事部門の労務コストや業務負荷が大きいことから、軽減方法を模索している現状を踏まえても、早急な対策が必要であることは明白だ。ここまでまとめると、この課題の解決には以下のような要件を満たす必要がある。

	eG-Connector を利用する	eG-Connector を利用しない ※他ソリューションを利用
業務プロセス	<b>簡潔</b> ・SAP人事システム内でオペレーションが完結し、簡潔な業務プロセスとなる。	<b>複雑</b> ・SAP人事システム外でのオペレーションが必要となり、複数システムを横断した複雑なプロセスとなる。
データ管理	<b>一元管理</b> ・e-Govより発行された公文書もSAP人事システム内で管理可能。 ・SAP人事システム内で従業員データ管理。	<b>多重管理</b> ・公文書はSAP人事システム外にて管理。 ・従業員データを人事システム外にて多重管理。
費用	<b>適性</b> ・eG-Connectorの利用料のみ発生。 ・法改正対応はSAPの保守内にて実施。	<b>割高</b> ・他ソリューション利用料(法改正費用含む)発生。 ・他ソリューションへのデータ連携機能の構築費用発生。
業務運用との適合性	<b>堅固</b> ・内部統制を意識し、安易なデータ修正を抑制。 ・SAP標準機能を利用しない運用を実施している場合は、機能を利用するための見直しが必要。	<b>懸念有り</b> ・ソリューション内外で個別のデータ編集が可能。 ・データ改ざんによる不整合のリスクが存在。

eG-Connectorの利用有無によるメリット・デメリット一覧

- ・外部連携 API 対応ソフトウェアを利用したシステム構築
- ・SAP 人事システム内だけで業務オペレーションが完結
- ・迅速にシステム構築でき、かつ安価なシステム利用料
- ・人事データの一元管理が可能

では、これらの要件を網羅した外部連携ソリューションはあるのだろうか。

## 外部連携 API を用いたシステム連携で 簡単、安全かつ低コストで電子申請に対応

人事労務関係手続きの電子申請対応において SAP 人事システムユーザーが直面する課題を解決すべく、DTS が 2018 年 12 月にリリースしたのが「eG-Connector」だ。eG-Connector は SAP 人事システムと e-Gov 電子申請システムを自動連携する外部連携 API となっており、SAP 社が提供する PaaS 環境 (SAP Cloud Platform) 上で SaaS ソリューションとして提供される。このソリューションを使用することにより、他の外部連携 API 対応ソフトウェアのように SAP 人事システムからデータ加工や抽出を行わずにワンストップで e-Gov 電子申請システムと連携できるのである。

具体的には、SAP 人事システムで作成した申請データを SAP 人事システムの標準機能である B2A Manager という機能での業務オペレーションのみで e-Gov 電子申請システムに連携することが可能となっている。このため、すでに同システムを導入している企業であれば、非常に簡単に電子

申請を行えるようになる。日々の業務についても既存のシステムのままで業務を完結できるため、業務プロセスをシンプル化することで現場スタッフの負荷軽減にもつながる。

なお、マスターデータ、申請データはこれまでどおり SAP 人事システム内で一元管理されるため、他のシステムを導入したことでマスターデータの整合性が取れなくなるリスクや申請データが改ざんされるリスクが生じることもない。

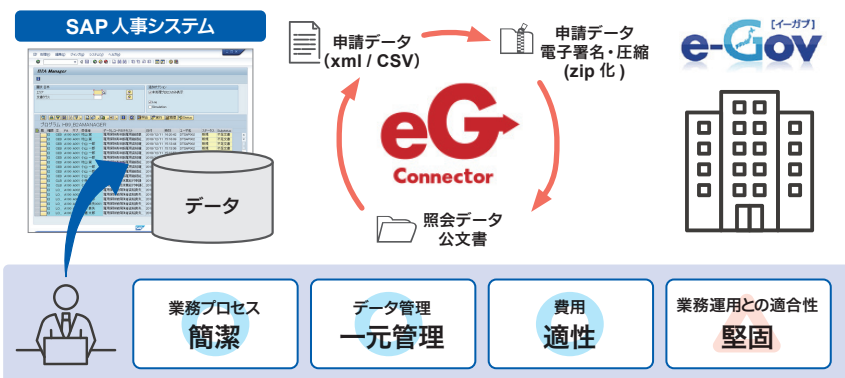
また、eG-Connector は e-Gov 電子申請システムから発行された公文書を SAP 人事システムに連携し、B2A Manager 上で一元管理できるようになっている。先述の通りクラウド製品であるため、機器購入コストなども不要で、新たに発生するのは eG-Connector の利用料のみだ。これにより、一般的な外部連携 API 対応ソフトウェアを導入するのと比べて大幅にコストを抑えることができるのである。

さらに eG-Connector は、システムの「適合性評価」に平均 1 カ月、「接続設定」に平均 1 カ月を経て本番運用開始と、導入～利用までの期間が他のソリューションと比べて比較的短いのもポイントだ。

## タレントマネジメントと合わせた導入で さらなる相乗効果を生み出す

DTS では、20 年以上に渡り SAP 人事システムを扱ってきており、SAP Success Factors のようなタレントマネジメントシステムに関する実績や知見も豊富に存在している。

これからの人事部門のあり方を考える時に、貴重なスタッフのリソースをより本質的な業務に集中させることは必須とも言えるだろう。今回の電子申請対応をきっかけとした eG-Connector 導入を機に作業の効率化を図り定型業務にかかる負担を軽減することで、人事部門をより自社の事業目標達成に貢献する戦略的な組織に変革させてみてはいかがだろうか。



SAP 人事システムから e-Gov 電子申請システムへとワンストップでの連携が実現

## 株式会社DTS

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-23-1エンパイヤビル

お問い合わせ E-mail. [eG-Connector@dts.co.jp](mailto:eG-Connector@dts.co.jp)

[https://www.dts.co.jp/solution\\_pkg/package/egconnector/](https://www.dts.co.jp/solution_pkg/package/egconnector/)

すべての製品名、サービス名、会社名、ロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。